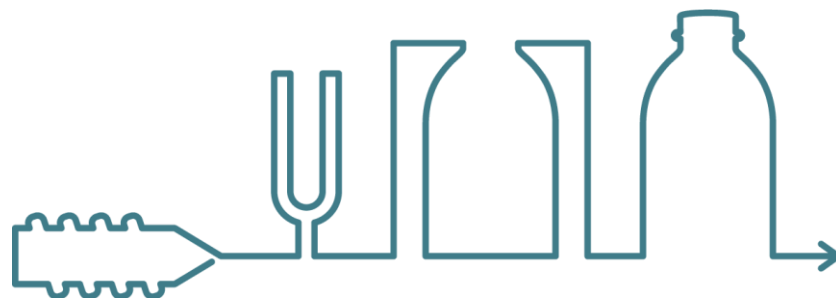


ASB

Form Your Vision

日精エー・エス・ビー機械(株) 個人投資家向け会社説明会



2025年7月12日

日精エー・エス・ビー機械株式会社

東証プライム：6284



- I . ASBの基礎知識
- II . ASBの強み
- III . 成長戦略
- IV . 株主還元
- V . 参考資料・データ集



I . ASBの基礎知識

II . ASBの強み

III . 成長戦略

IV . 株主還元

V . 参考資料・データ集



会社名	日精エー・エス・ビー機械株式会社 NISSEI ASB MACHINE CO., LTD.
設立	1978年11月8日
代表者	代表取締役会長 青木大一 代表取締役社長 藤原誠
本社所在地	長野県小諸市甲4586番地3
事業内容	PETボトルなど、プラスチックボトルの生産機「ストレッチブロー成形機」、金型、付属機器、部品の開発・製造・販売およびサービス
従業員数	連結：2,202名、単体：218名（2025年3月末現在）

経営理念

- ・人と社会に豊かさを提供する
- ・高い技術、サービスで恒久的な
存続を追求する



- 浅間山を望み、風光明媚、四季折々の自然に恵まれた環境
- 東京ドーム 2.4個分の敷地内に工場2棟と管理棟を配置
（標高940m <軽井沢駅と同高> 旧軽井沢銀座まで車で約30分）



(出典：PETボトルリサイクル推進協議会)

1974年
米国でPETボトル炭酸飲料が発売

1977年
日本でPETボトルしょうゆ容器が発売

1993年
PETボトルリサイクル開始

2004年
ボトルtoボトルによる
リサイクルPETボトル誕生

2019年
プラスチック資源循環戦略
を閣議決定

2022年
プラスチック
資源循環促進法施行

1970～1980年代

1990年代

2000年代

2010年代

2020年代

1978年
長野県坂城町に当社設立

1979年
ストレッチブロー成形機の基本特許取得
1-Step機 ASBシリーズ商品化

1980年代
リサイクルPET樹脂の成形試験を開始
アメリカほか販社の海外展開を開始

1987年
長野県小諸市に本社を移転
(本社工場開設)

1990年
株式店頭登録

1997年
インド進出
(インド第1工場開設)



2001年
インド製のベストセラー
1-Step機 ASB-50MB商品化

2002年
国際展示会でリサイクルPET
100%のボトル成形を実演

2004年
ジャスダック上場

2008年
環境省のPETボトルリユース
実証実験に参画

2012年
東証二部上場

2013年
インド第2工場開設
東証一部上場

2018年
千曲川工場開設(長野県佐久市)
インド第3工場開設
1.5-Step機 PF36商品化

2019年
ゼロ・クーリングシステム開発



2020年
IoT対応の制御技術
Vision1開発

2021年
新工場用地取得
(長野県佐久市臼田)

2022年
プライム市場に移行



(凡例 赤文字：生産能力増強、緑文字：環境対応技術、青文字：株式上場)



経産省認定
グローバルニッチ
トップ企業
100選

連結従業員数
(2025年3月末時点)
2,202人

海外従業員比率
(2025年3月末時点)
約90%

海外拠点数
14社

売上高
(2025年9月期計画値)
410億円

営業利益
(2025年9月期計画値)
90億円

営業利益率
(2025年9月期計画値)
約22%

世界シェア
約60%

機械累計販売
14,000台

金型累計販売
30,000型

海外売上比率
約90%

海外販売実績
約130カ国



ウォーターサーバー



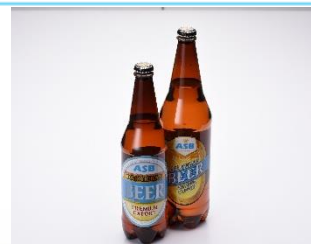
哺乳瓶



目薬



医薬品



ビール



飲料(水・炭酸水)



化粧品



食品(ジャム・マヨネーズ・ピクルスなど)



醤油・食用油



洗剤



日用品(食器用洗剤)



日用品(シャンプー)





利便性と環境性能に優れるPETボトル

		 PETボトル 600ml 炭酸水 (20本入)	 アルミ缶 350ml 炭酸水 (12本入)	 ガラス瓶 350ml 炭酸水 (12本入)
利便性	重量 	22.2g	12.7g	208g
	デザイン性 	◎	×	○
	取り扱い 	○	○	×
環境性能 ※	廃棄物発生量 	1倍	3倍以上	14倍以上
	電力使用量 	1倍	3倍以上	5倍以上
	CO2排出量 	1倍	2倍以上	5倍以上

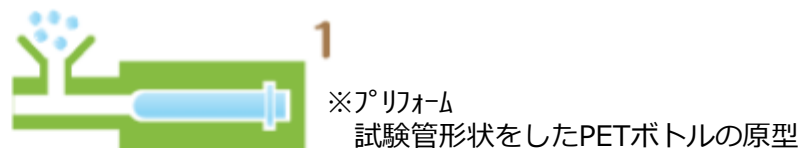
(※1,000ガロン(3,785リットル)あたりの環境性能比較)

出典:NAPCOR (全米ペット容器資源協会)



ストレッチブロー成形とは？ → PETボトルの成形方法のひとつ

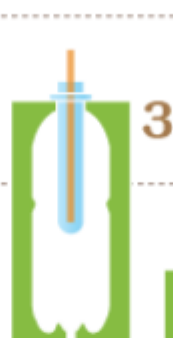
- 1 溶かした樹脂を金型に流し込み
プリフォームを成形し、冷却後に
取り出し。



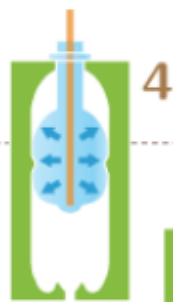
- 2 プリフォームを約100度まで
再加熱。



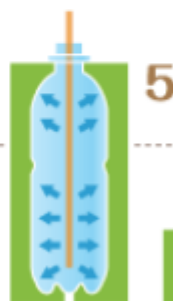
- 3 プリフォームをボトル成形用
金型に挿入。



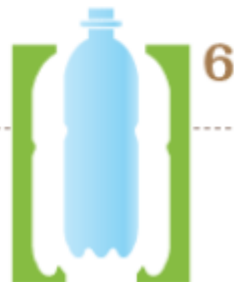
- 4 棒でプリフォームを縦に伸ばす。
⇒ **ストレッチ!!!**



- 5 高圧空気で膨らます。
⇒ **ブロー!!!**



- 6 冷却後にボトル用金型を開き、
PETボトルを取り出して完成。



【豆知識】

PET樹脂は伸ばせば伸ばすほど
樹脂の結びつきが強くなり
強度が増すという特性があります。
そのため、ストレッチブロー成形は
PET樹脂に最も適した成形方法と
言われています。

(参考：PETボトルリサイクル推進協議会HP)





1-Step機



ストレッチブロー成形機

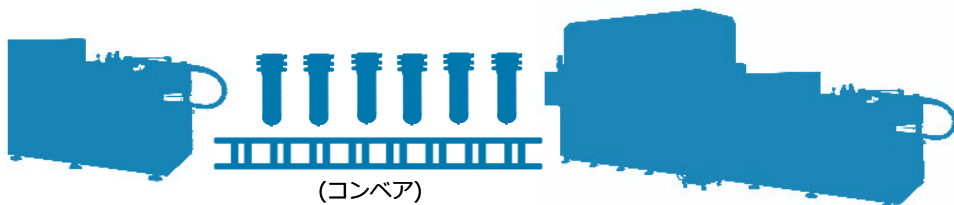


1-Step機の特徴

- 1台の機械でPETボトル生産が完結
- 投資コスト少額、省人・省エネ・省スペース
- 多品種・中小ロット生産に優れる
- 様々なデザイン・大きさ・形の付加価値の高いボトル生産に適する

⇒非飲料容器に最適

2-Step機



プリフォーム成形機

ブロー成形機



2-Step機の特徴

- プリフォーム成形機とブロー機の2台以上の機械が必要
- 投資コスト高額、設置スペース広大
- 少品種・大量生産に優れる
- 飲料水などの単一ボトル生産に適する

⇒飲料容器に最適



ASBの得意領域

	非飲料容器	飲料容器
最適な成形機	1-Step機 (1台の機械でPETボトルを生産)	2-Step機 (2台以上の機械でPETボトルを生産)
容器の生産方式	多品種・中小ロット生産	少品種・大量生産
容器の特徴	複雑なデザイン, 多種多様な形状	単純なデザイン, 単一の形状
容器の用途	化粧品 日用品 食品 医薬品	飲料用
世界の市場規模(推定)	約600億円	約2,500億円
ASBのシェア	約60%	約1%
主な競合企業	青木固研究所(日本)	Sidel(フランス), Kronos(ドイツ) SIPA(イタリア), Newamstar(中国)等
市場の特徴	プレーヤーの少ないニッチ市場	プレーヤーの多いマス市場



1-Step機

ASB
Series

**多品種中小ロット生産に優れる
ASBの看板商品**

1-Step機のASBシリーズは当社の主力機種。
非飲料容器のベストセラー機として世界中で愛用されており、
長年にわたり非飲料容器の成形機として世界シェア1位を獲得



(ASB-70DPH v4)

小型機	ASB-50MB, 12M	小型容器
中型機	ASB-70DPH/W	小型容器、汎用性大
大型機	ASB-150DP/W/X	広口・細口容器大量生産
大型機	ASB-650EXHS/D	特大容器が可能なボトル
特殊機	ASB-12M-2inj	2層容器

1.5-Step機

PF
Series

**1-Stepと2-Stepの双方の良さを
併せ持つ革新的なコンセプト機**

PFシリーズはASB独自の革新的な機械構造を採用することで
1-Stepでありながら2-Step並みの生産量を出す独自商品



(PF36シリーズ)

中型機	PF6-2B, 8-4B	中小型容器
中型機	PF3-1BH, 4-1BH	大型容器
中型機	PF3-1BHLL	大型ボトル付き容器
大型機	PF36シリーズ	飲料容器の中規模生産 500mlからウォーターサーバーまで

その他

PM
Series



高性能かつコンパクトな
投資効率に優れたプロフォーム成形機

HSB
Series



高品質なリターナルPETボトル
を成形する耐熱容器成形機



インド工場（インド、ムンバイ）



ASB本社／工場（長野県小諸市）



ドイツ
スペイン

UAE

インド工場

本社・工場



千曲川工場（長野県佐久市）

シンガポール

メキシコ



テクニカルサポートセンター
（アメリカ、アトランタ）

ブラジル

● Factory ● Regional Office ● Branch Office
工場 海外販売現地法人 支店

開発拠点は日本、マザー工場はインド、販売は世界各地の現地法人・支店が担当



I . ASBの基礎知識

II . ASBの強み

III . 成長戦略

IV . 株主還元

V . 参考資料・データ集



「三位一体の技術力」でプラスチック容器のトータルソリューションを提供

業界のトップランナーとして
顧客のニーズに沿った
独自性の高い機械を開発

機械開発



新しい容器形状の提案や
新素材への対応により
顧客と価値を共創

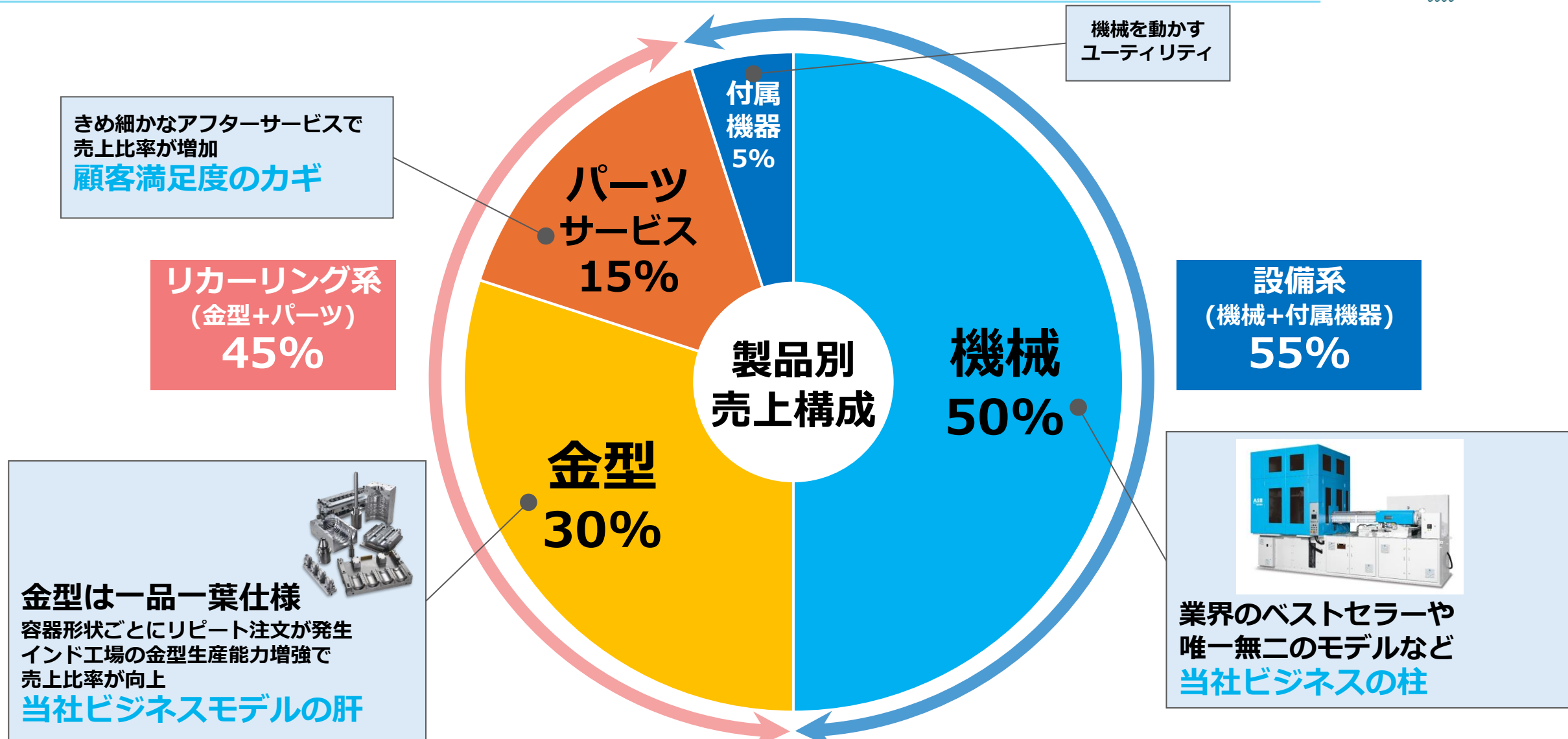
金型・ 容器開発



成形技術 ・ サービス



グローバルなサービス網と
成形支援の徹底による
顧客の困りごと解決



安定収益となる「リカーリング比率の高さ」がASBの強み

(リカーリングとは継続性・循環性のあるビジネスのこと。ASBでは「金型」と「パーツ・サービス」がそれにあたる)

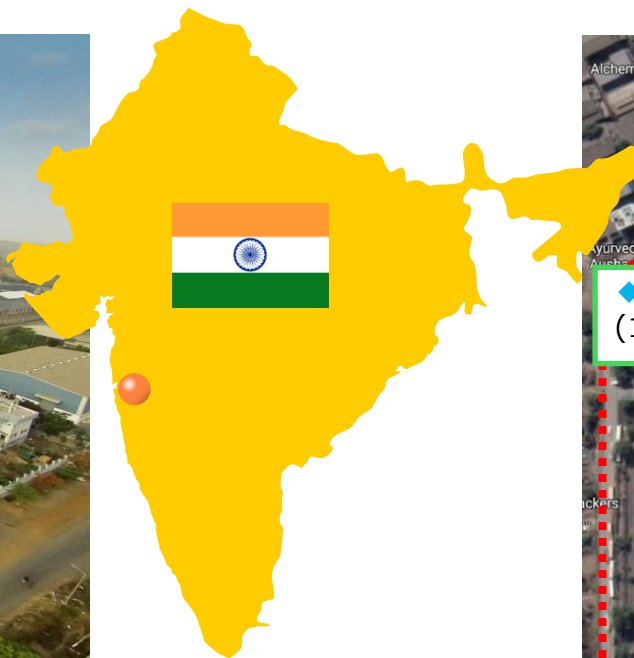


化粧品
1位



日用品
医薬品
1位





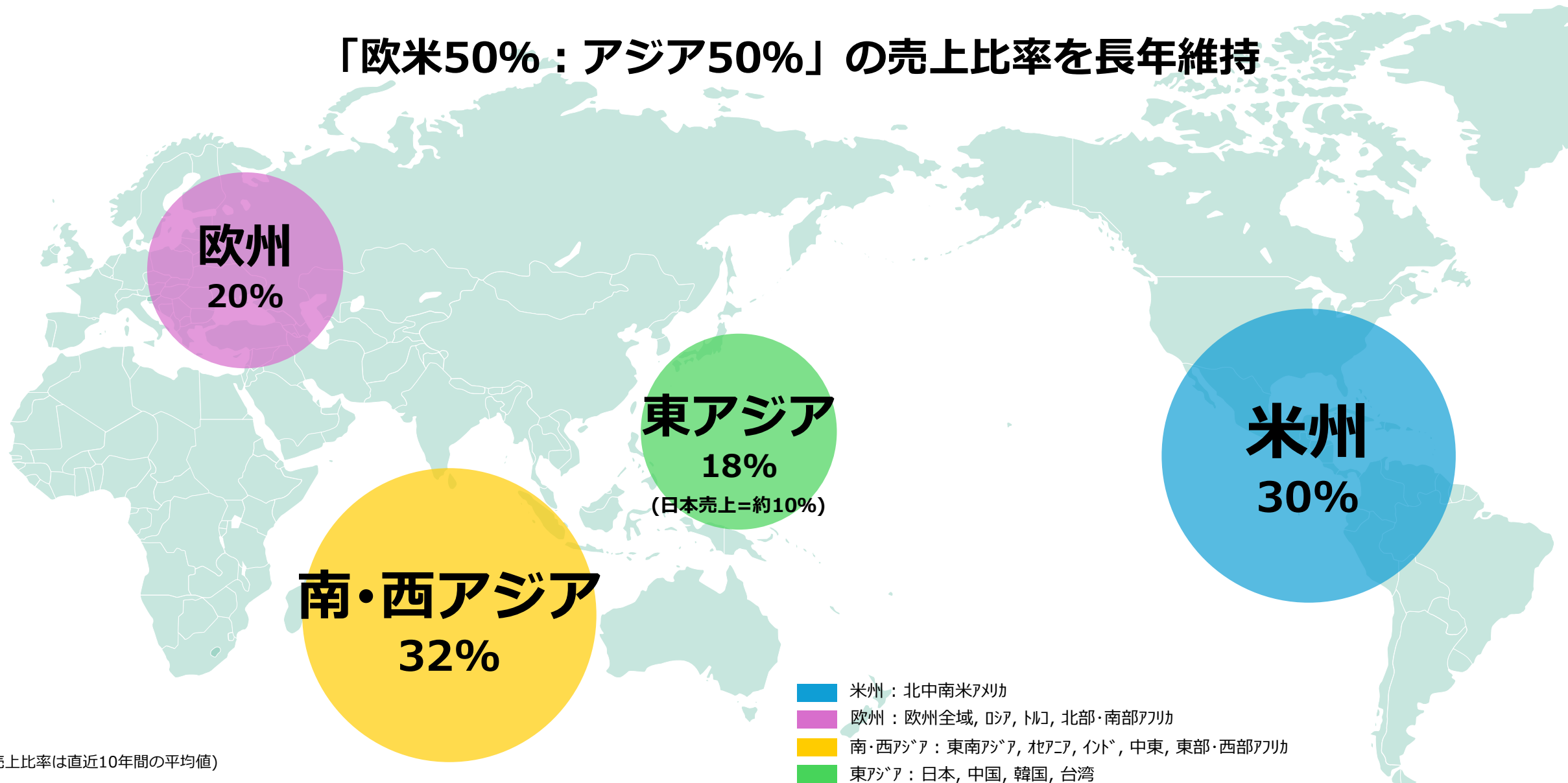
100%出資のインド子会社
ASB INTERNATIONAL PVT. LTD.
 マハラシュトラ州アンベルナス市(ムンバイ郊外)
 設 立：1997年2月
 資本金：937百万ルピー(2024年9月末現在)
 従業員数：1,743名(2025年3月末現在)

日本企業に先駆けてインドにマザー工場を設置
 製販両面で成長市場の恩恵を享受

生産能力増強 + コストダウン + インド市場開拓



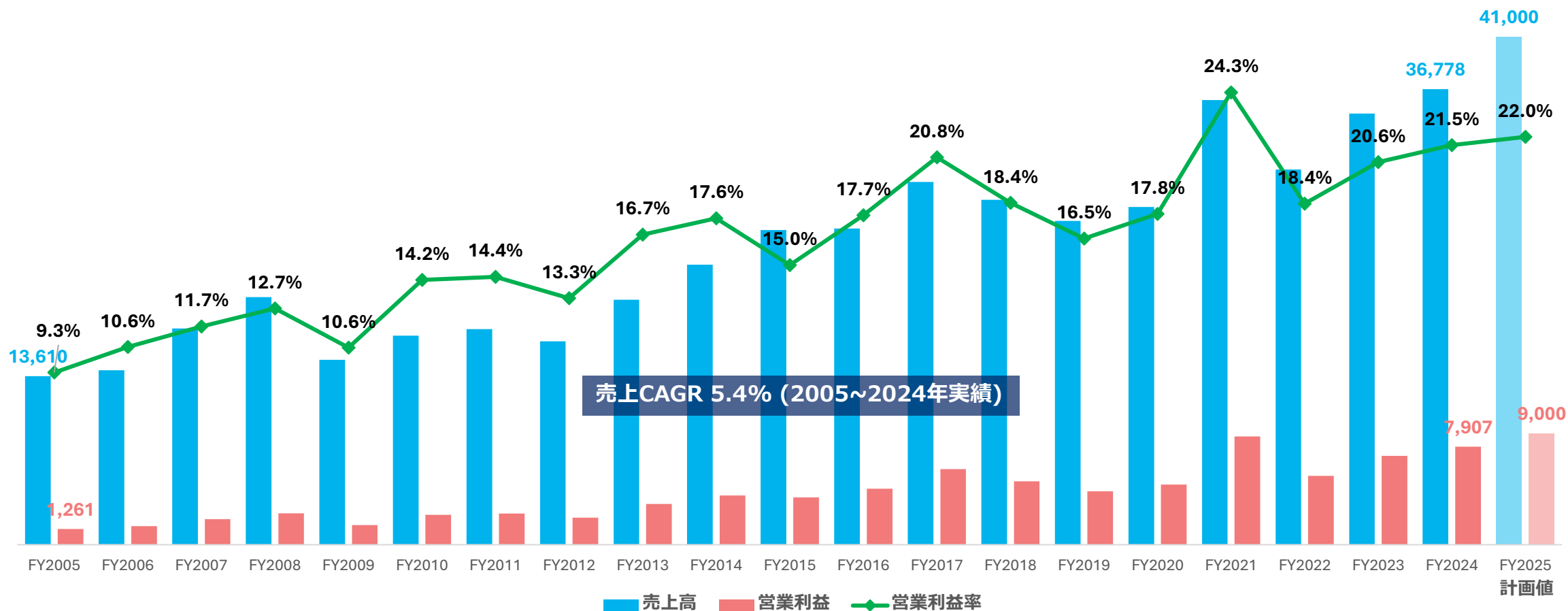
「欧米50%：アジア50%」の売上比率を長年維持



(売上比率は直近10年間の平均値)



過去20年で売上は約3倍、営業利益は約6倍に成長 (2005年～2024年の実績比較) 直近5年間の利益率は平均20%の高収益





I . ASBの基礎知識

II . ASBの強み

III . 成長戦略

IV . 株主還元

V . 参考資料・データ集



1. 非飲料分野（得意領域）

ASBシリーズの着実な販売で**安定成長**を図る



2. 飲料分野（戦略領域）

PFシリーズの拡販で**売上規模拡大**を図る



3. その他（異素材対応など）

ポリエチレン容器市場への参入で**新市場開拓**を図る



三本柱の成長戦略

品質も輝く

ZERO

のハイサイクル成形



主力のASBシリーズは『ZC』技術で安定成長

1
-Step

ZC（ゼロ・クーリングシステム）とは、生産性と容器品質の双方を向上させる画期的な成形手法



ZCの効果

生産性向上
容器品質向上
(強度向上, 省材料・軽量化, 見栄え向上)

ZC機械
注文増加

ZC金型
リピート
注文増加

ASB
シェア
向上

2019年
ZC開発

機械(ASBシリーズ)
の競争力向上

金型売上の成長率が向上

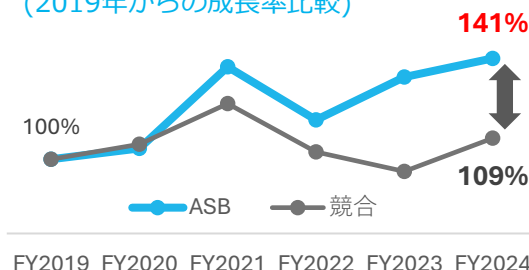
CAGR
6%

CAGR
9%

2005-2019

2019-2024

競合他社との差が拡大
(2019年からの成長率比較)



差が拡大



15
Step



(1.5STEP機 PF36シリーズ)

PF
Series

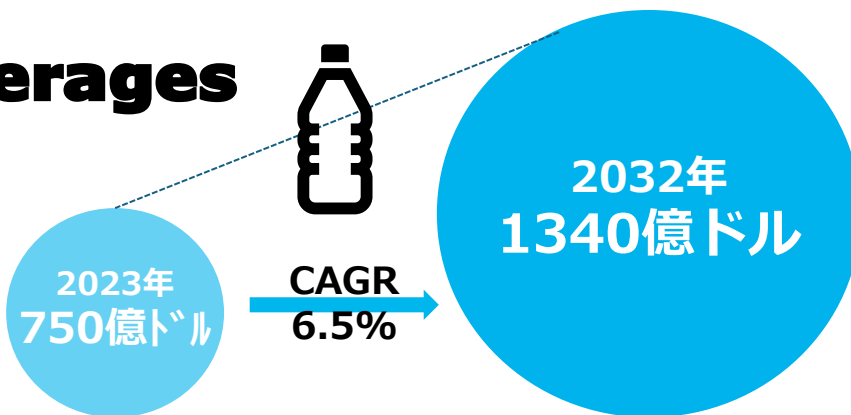
なぜ飲料分野に本格参入するのか？

①飲料分野は成長市場

【背景】

世界経済の発展で飲料需要が増加
世界的な水不足でボトルウォーターが水道インフラを代替

Beverages



世界の飲料PETボトルの市場成長予測

飲料市場は規模大・高成長

Non-Beverages



世界の非飲料PETボトルの市場成長予測

非飲料市場は安定成長

(出典：Fortune Business Insights)

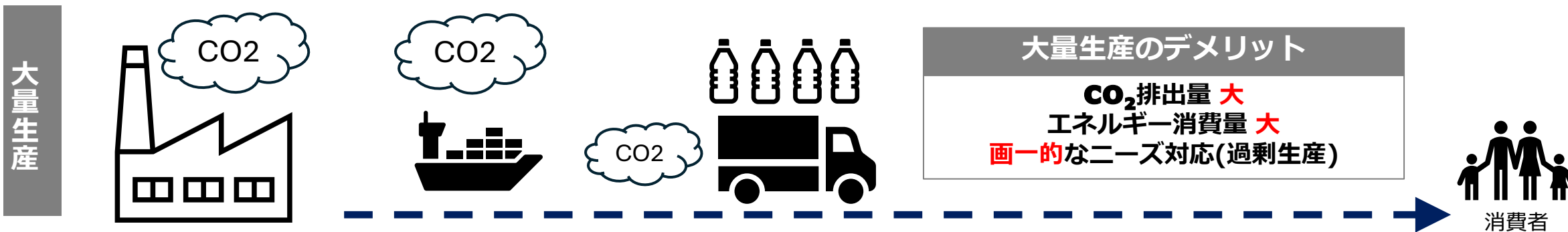


PF
Series

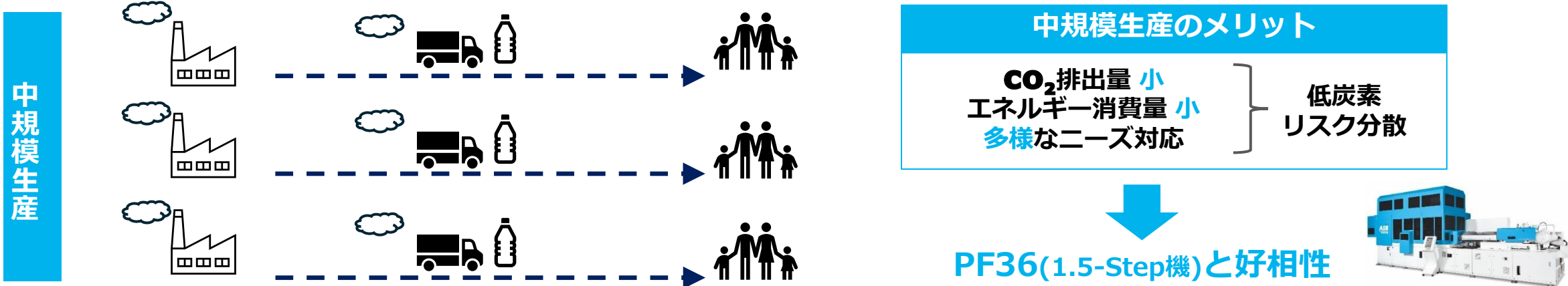
なぜ飲料分野に本格参入するのか？

②大規模集中から自律分散への転換

【従来の生産方式：1カ所の大規模工場での大量生産と長いサプライチェーン】



【低炭素社会の生産方式：複数工場での中規模生産と短いサプライチェーン】(当社想定)





15
-Step

PF
Series

なぜ飲料分野に本格参入するのか？

③ 1.5-Step機「PF36」による差別化戦略



PF36
の特徴

中規模生産に最適な
生産量

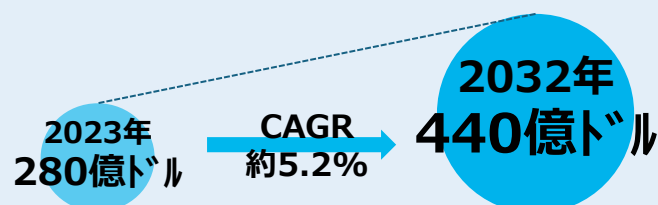
優れた省エネ性能
消費電力20%削減*

コンパクトな機械サイズ
設置面積60%削減*

(*2-Step機との比較)

飲料ボトルの生産量目安 (当社調べ)

先進国飲料PETボトル市場規模



超大規模生産
(54,000本以上/1時間)

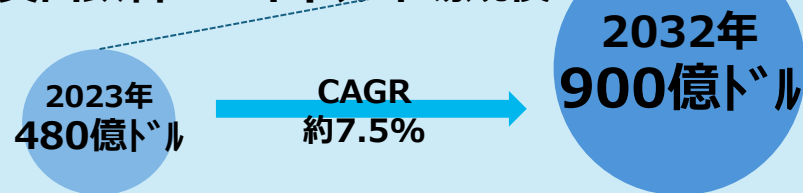
- ・ 海外大手の2-Stepメーカーが得意とする生産量
- ・ 大規模生産、大量消費

大規模生産
(36,000本/1時間)

中規模生産
(18,000本/1時間)

- ・ ASBが狙う生産量
- ・ 中規模生産、地産地消
- ・ 推定需要 1,000台

新興国飲料PETボトル市場規模



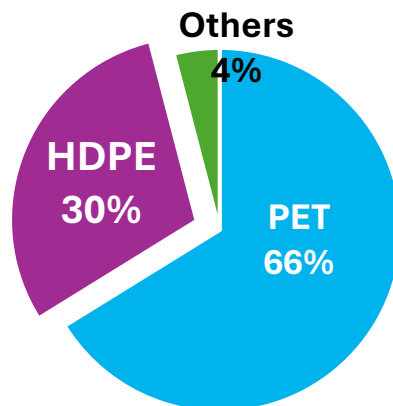


ポリエチレン樹脂（HDPE）はプラスチック容器の主要材料、且つ成長市場

(High-density polyethylene : 高密度ポリエチレン)

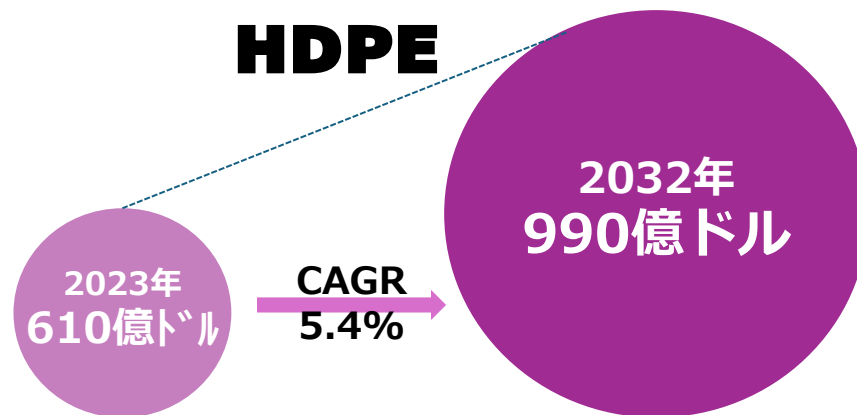


ポリエチレン樹脂は耐薬品性の高い樹脂
(主な容器：漂白剤や農薬など)



樹脂別のプラスチック容器の割合
(2023年)

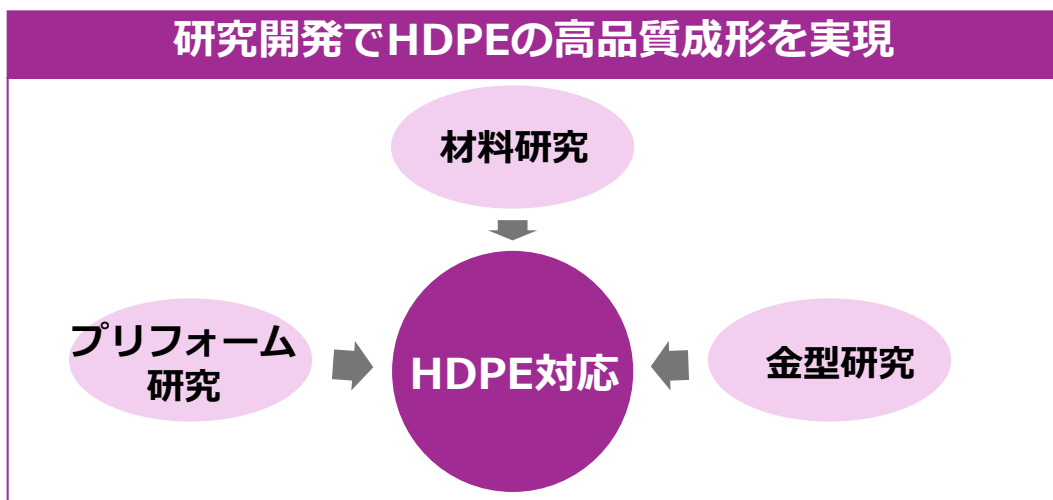
HDPE



世界のポリエチレン容器の市場成長予測

(出典：Fortune Business Insights)

研究開発でHDPEの高品質成形を実現



ASBのHDPE成形の強み

容器品質向上
(密封性と耐久性が向上)
成形時の材料ロス削減

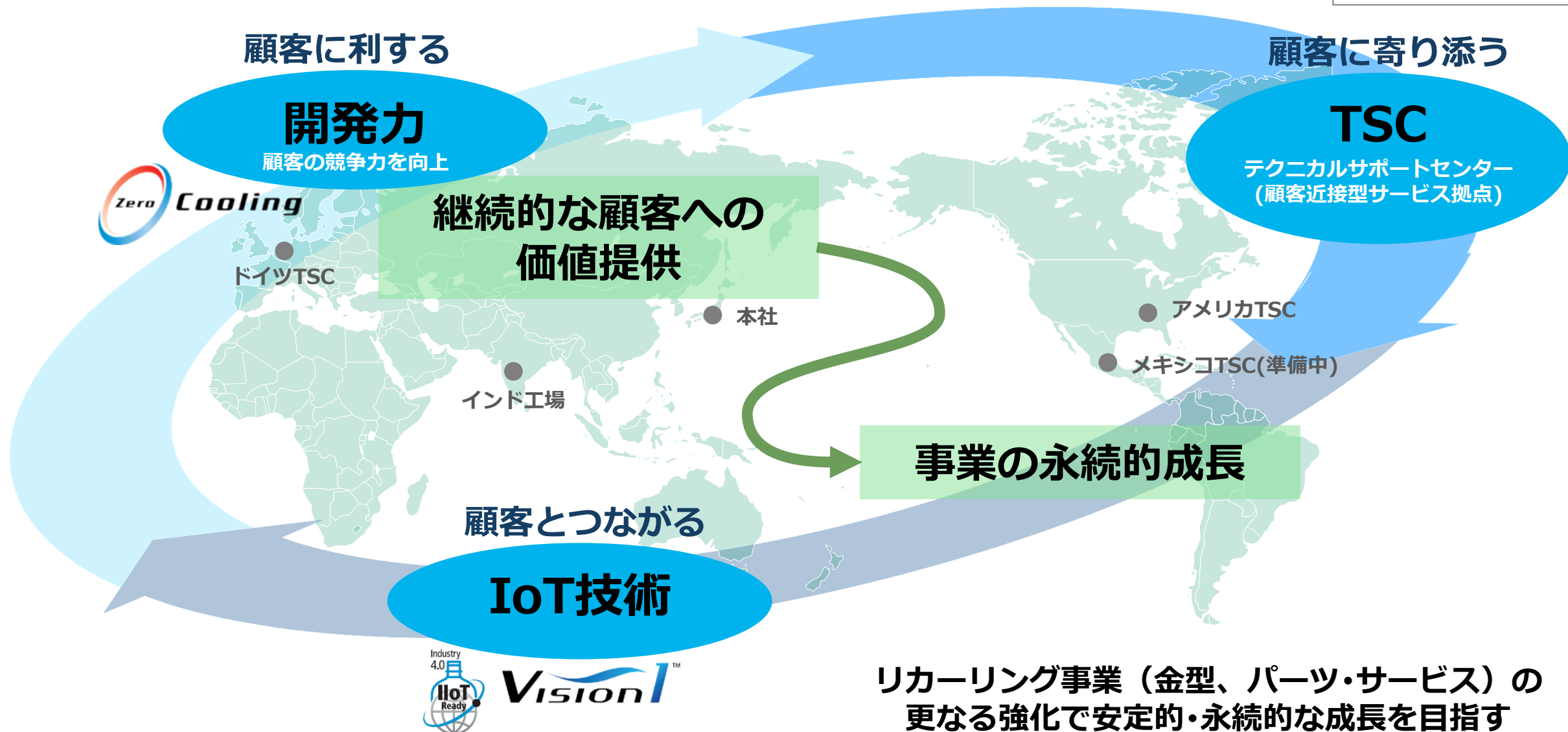
顧客のメリット

ASBの既存機が利用可能
(金型交換のみでHDPE容器とPET容器の成形が可能)
→機械の稼働率向上
→顧客の生産性アップ



ASB独自のリカーリング（循環する）ビジネスモデル

Recurring



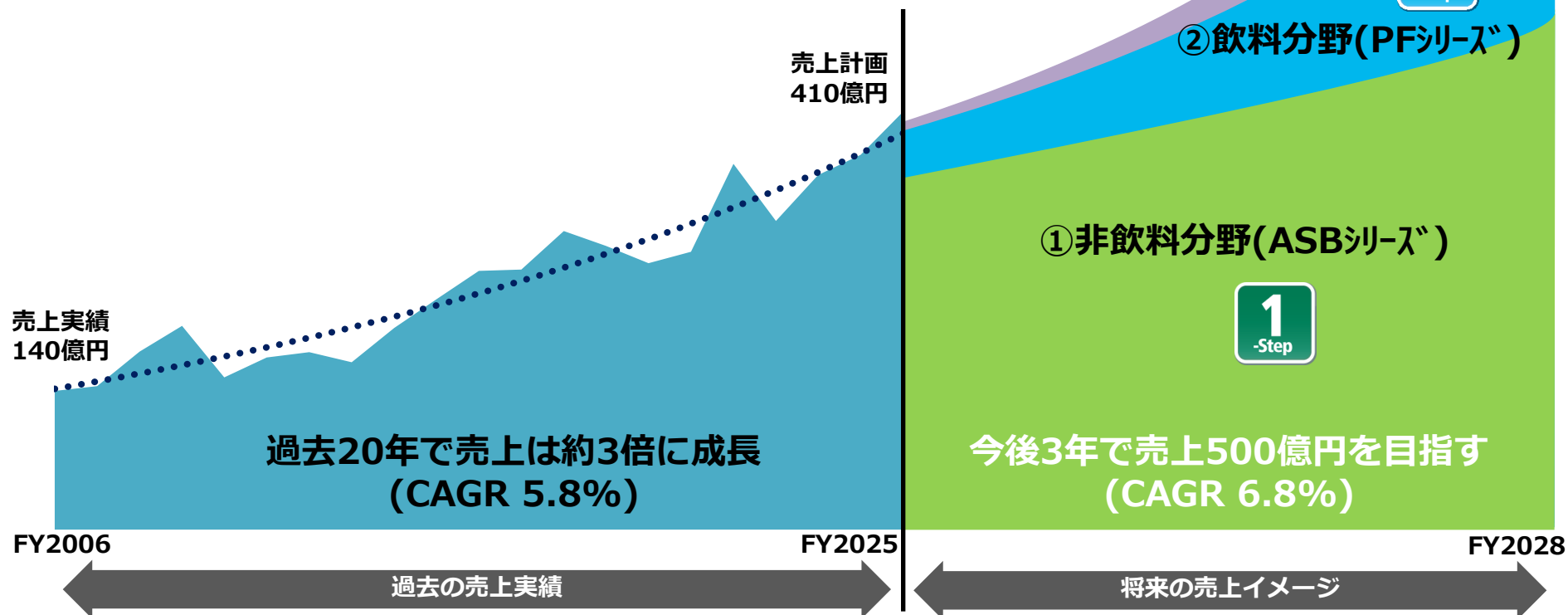


創立50周年に売上500億円を目指す

ASBは2028年9月期で創立50周年 (現在2025年9月期は第47期)
節目の年に売上500億円(50Bn JPY)の大台を目指す

2028年度 売上目標 500億円
(創立50周年に50BnJPY)

Project 50:50





I . ASBの基礎知識

II . ASBの強み

III . 成長戦略

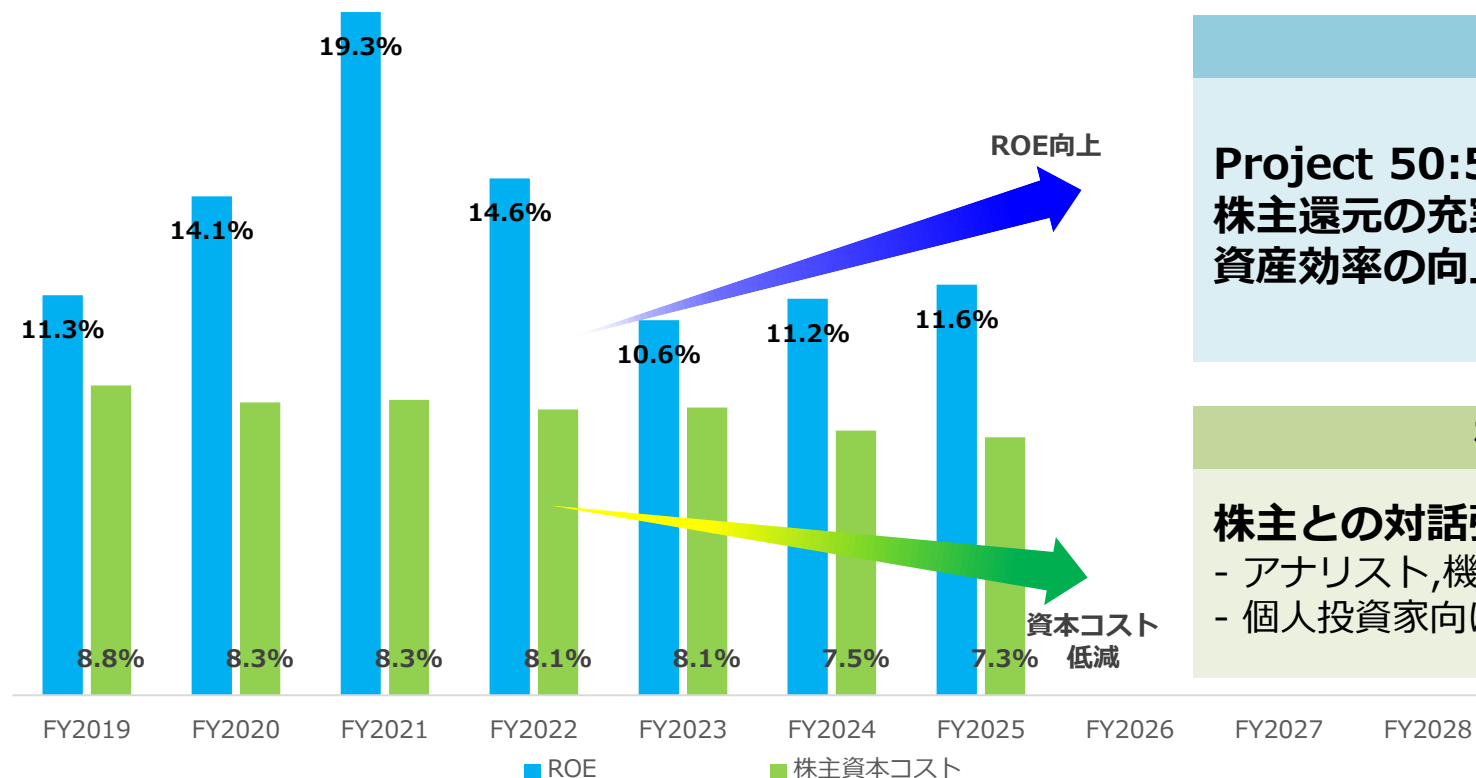
IV . 株主還元

V . 参考資料・データ集



資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応

付加価値の創出に加え、資本効率の更なる改善でROE向上を目指す



ROE向上

Project 50:50による利益拡大
株主還元の充実 (連結配当性向40%)
資産効率の向上 (棚卸資産の縮減)

株主資本コスト低減

株主との対話強化

- アナリスト、機関投資家との面談充実
- 個人投資家向け説明会強化

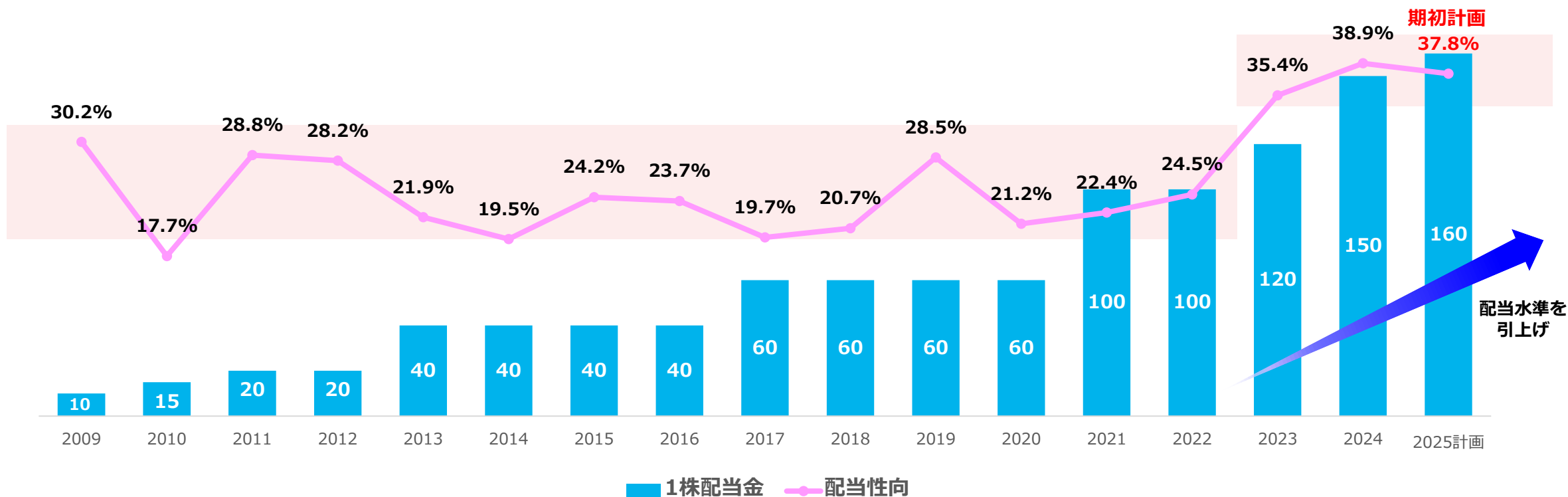
(株主資本コストはCAPM方式にて算出。直前期の指標は次のとおり。 リスクフリーレート(1.5%) + β値(0.96) × エクイティリスクプレミアム(6%))



配当方針：連結配当性向40%を目途に、継続的かつ安定的な配当に努める

配当性向：2024年度に40%目途の方針を設定し、配当水準を引き上げ

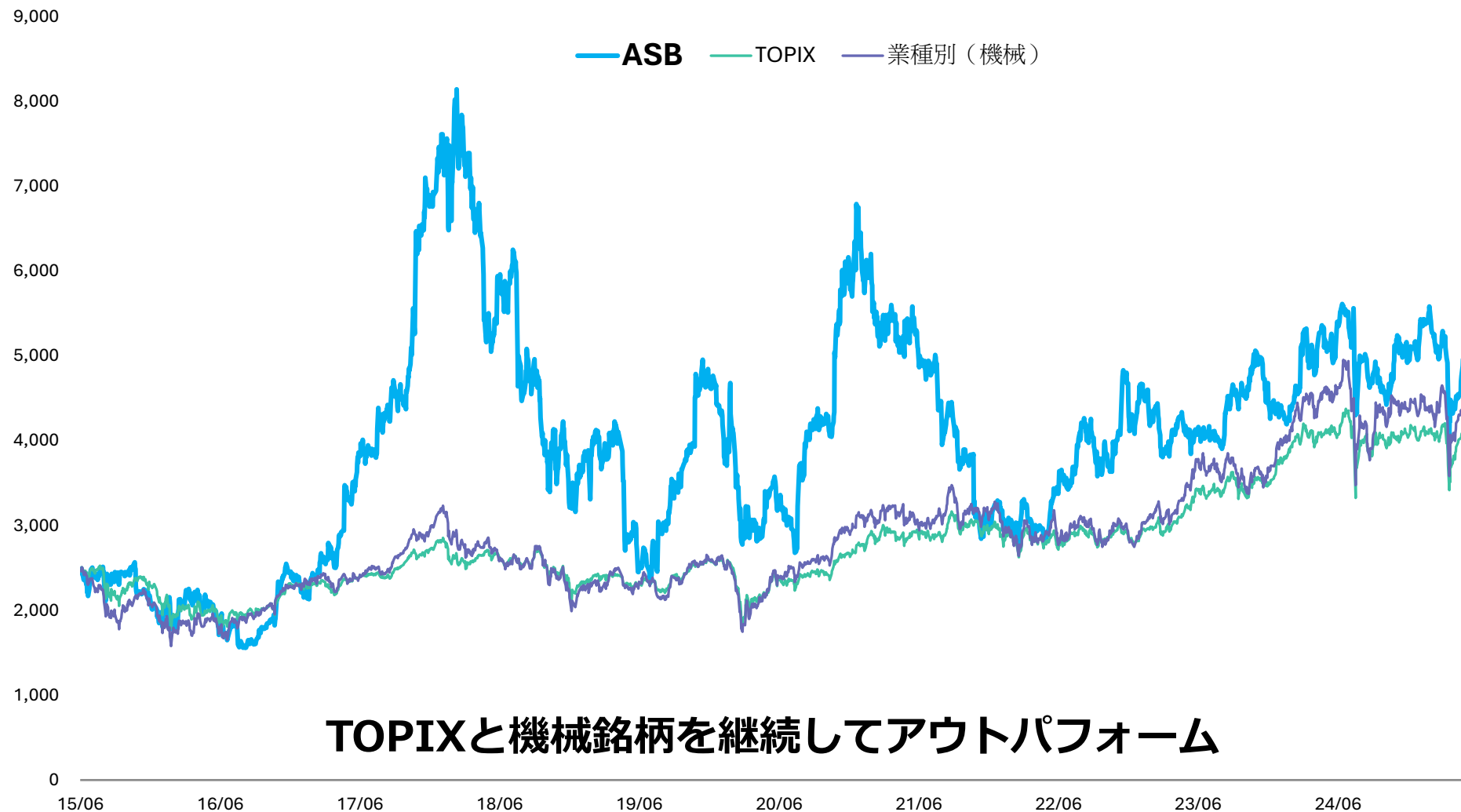
継続性：リーマンショック後の2009年度以降は減配なく、実施的な累進配当を継続





直近10年間の株価パフォーマンス

(2015年6月22日=100)



TOPIXと機械銘柄を継続してアウトパフォーム



I . ASBの基礎知識

II . ASBの強み

III . 成長戦略

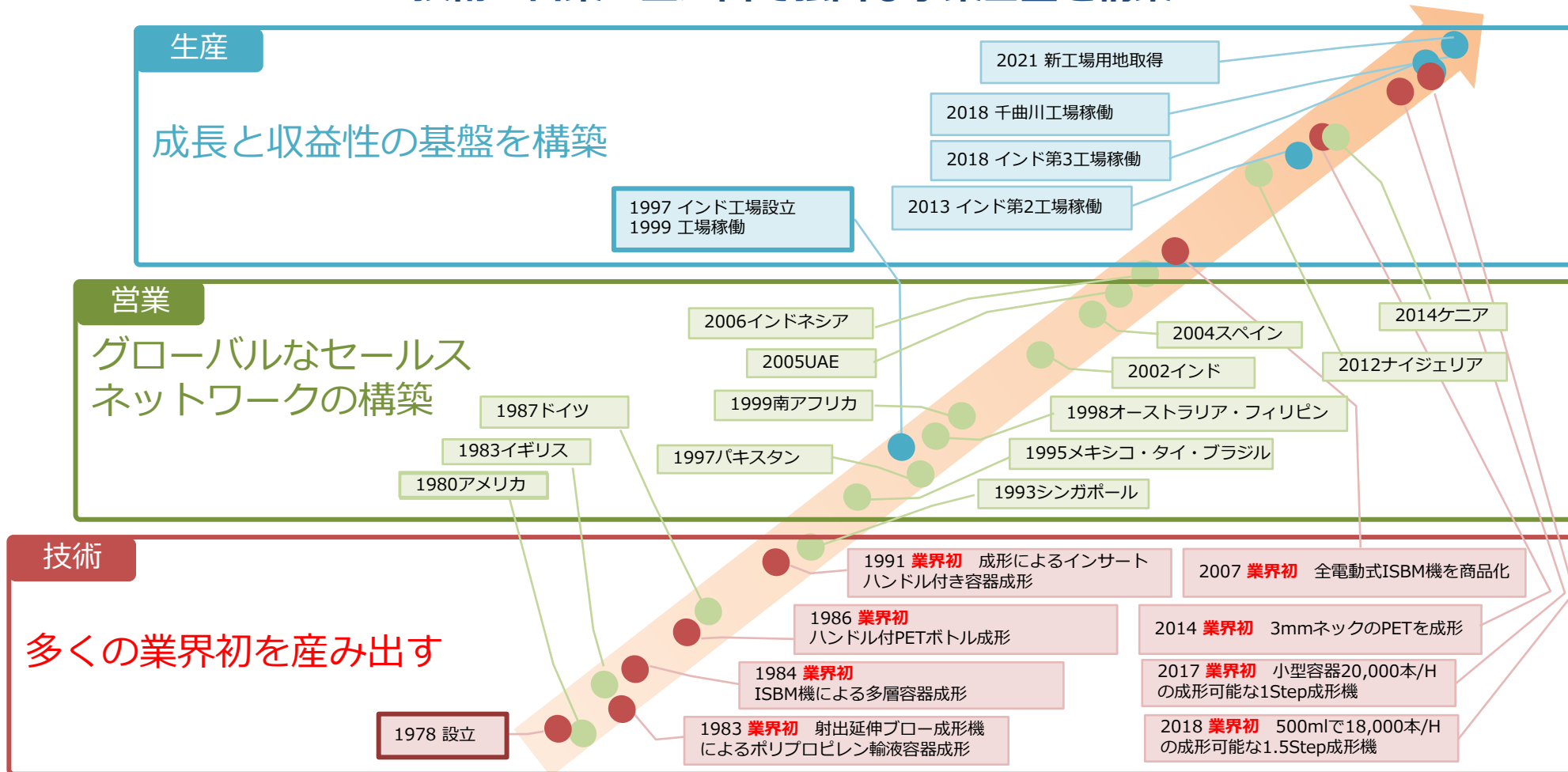
IV . 株主還元

V . 参考資料・データ集



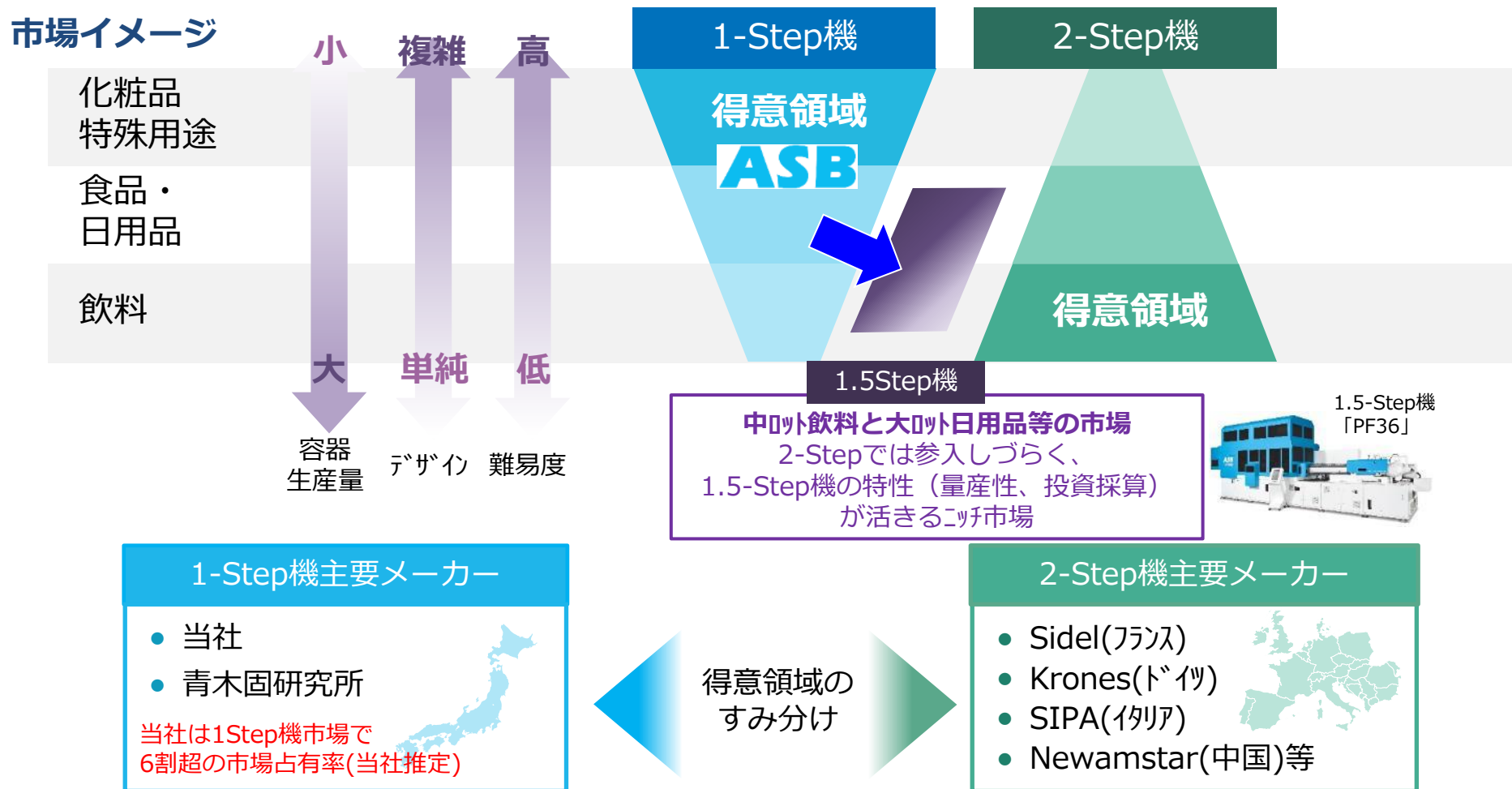
創業以来、数多の業界初を産出

技術・営業・生産面で強固な事業基盤を構築





1-Step機をメイン市場とし、1.5-Step機の市場を開拓



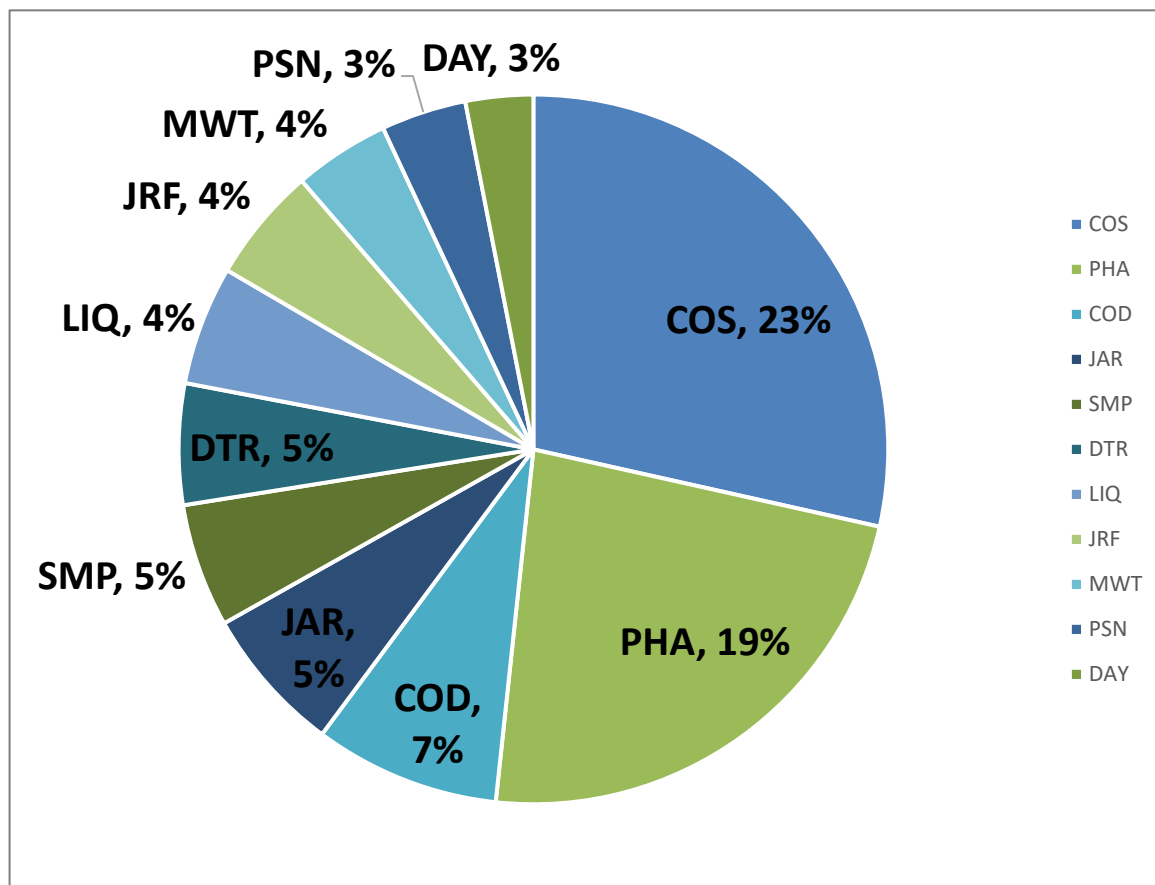


生活必需品として欠かせない容器の数々

用途区分	具体例
 化粧品	化粧水、乳液、ローション、香水、マスカラ、ヘアケア、スキンケアなど
 食品	醤油、ソース、ケチャップ、マスタード、ドレッシング、調味料、香辛料、食用油、コーヒー、乾物、ピクルス、サプリメントなど
 日用品	シャンプー、リンス、ハンドソープ、消毒液、マウスウォッシュ、食器用洗剤、洗濯用洗剤、芳香剤、エンジンオイルなど
 飲料	ミネラルウォーター、ウォーターサーバーボトル、ジュース、お茶、炭酸飲料、乳飲料、酒類など
 特殊容器	医薬品（輸液・点滴）、哺乳瓶、トナー容器など



化粧品や医薬品などの高付加価値容器が得意分野



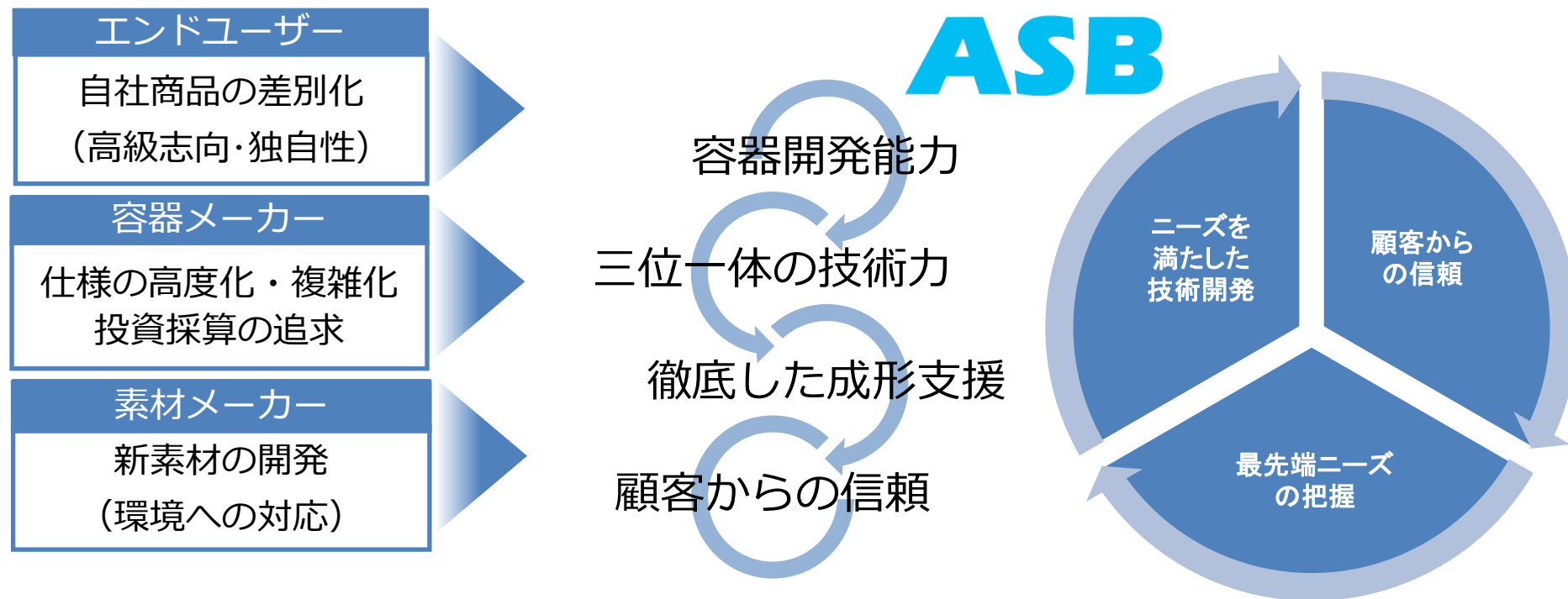
COS	Cosmetic	化粧品
PHA	Pharmaceutical	医薬品
COD	Condiment	調味料
JAR	Wide mouth jar	汎用広口容器
SMP	Shampoo	シャンプー
DTR	Detergent	洗剤
LIQ	Liquor	酒
JRF	JAR for food	食品広口容器
MWT	Water	飲料水
PSN	Poison, Agrochemical	農薬
DAY	Dairy product, Milk	乳製品

(2018-2025年 引き合い容器の割合 (受注金額ではなく、引き合い容器の図面比率))

(Creation ratio of container drawings from 2018 to 2025 (Ratio of the number of inquiry container drawings, not order amount))



40年の業歴で、顧客から信頼される「鉄壁のサイクル」を構築



- 「顧客が最終的に欲しいのは成形機ではなく、PETボトル（容器）だ」という考えの下、技術者が国内外の顧客先に出向き、「三位一体（機械・金型・成形技術）となった技術力」で、顧客がボトル品質に満足するまで「徹底した成形支援」を行い、「顧客からの信頼」を獲得。
- それによって当社の技術者も腕を上げ、成形技術に必要な温度調節等の高度で複雑な要素技術を蓄積。「顧客からの信頼」がさらなる評判を呼び、最先端のニーズを競合他社よりも早く掴めるようになる。そのニーズを満たすための技術を開発し、さらに顧客の信頼を獲得できる製品を提供。
- この「鉄壁のサイクル」が当社の強みであり、顧客から支持される理由。

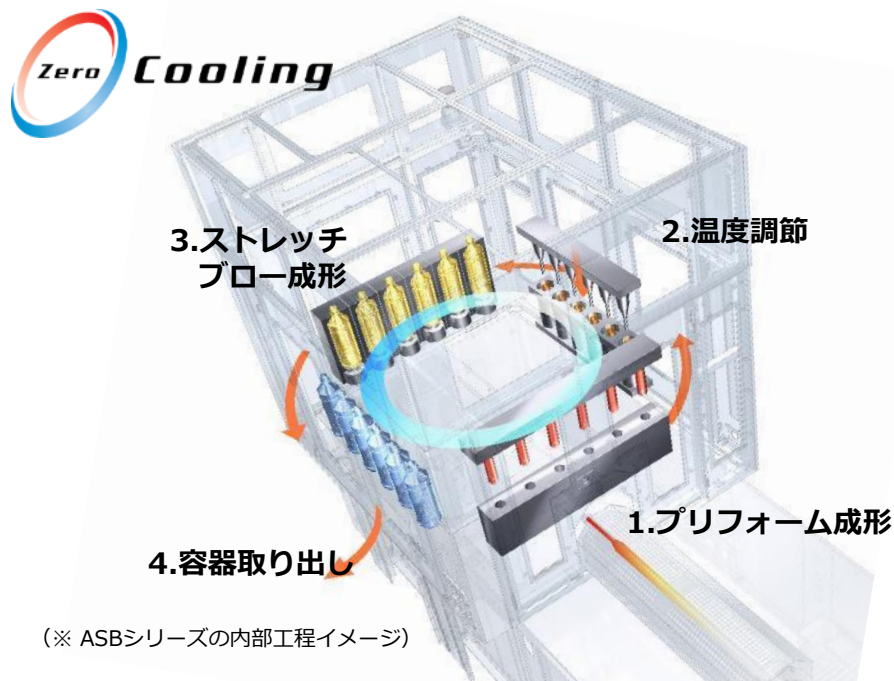
<2013年専門誌に関連記事>



生産性と容器品質を向上させる画期的な成形手法



『ZC』（Zero Cooling system）とは、生産性と容器品質の双方を向上させる画期的な成形手法



ASBシリーズは4ステーション（4工程）構造
 第1工程…プリフォーム成形工程
 第2工程…温度調節工程
 第3工程…ストレッチブロー成形工程
 第4工程…容器取り出し工程

※ ゼロ・クーリングシステム(ZC)・・・特許取得済み

従来の製造工程

1. プリフォーム成形
2. 温度調節
3. ストレッチブロー成形
4. 容器取り出し



ZCによる製造工程

1. プリフォーム成形
2. 温度調節
3. ストレッチブロー成形
4. 容器取り出し



ゼロ・クーリング（ZC）の効果

1. 容器成形時間の短縮により生産性が向上（最大50%増）
2. 物性強度の向上（15%増）
3. 軽量化（5～10%減）
4. 外観・見映え向上（フィッシュアイ（涙模様）、リング模様（伸びムラ）、オレンジピール（梨地状の肌荒れ）などの外観不良の改善）



Vision1(新制御システム)で顧客のDX化をサポート



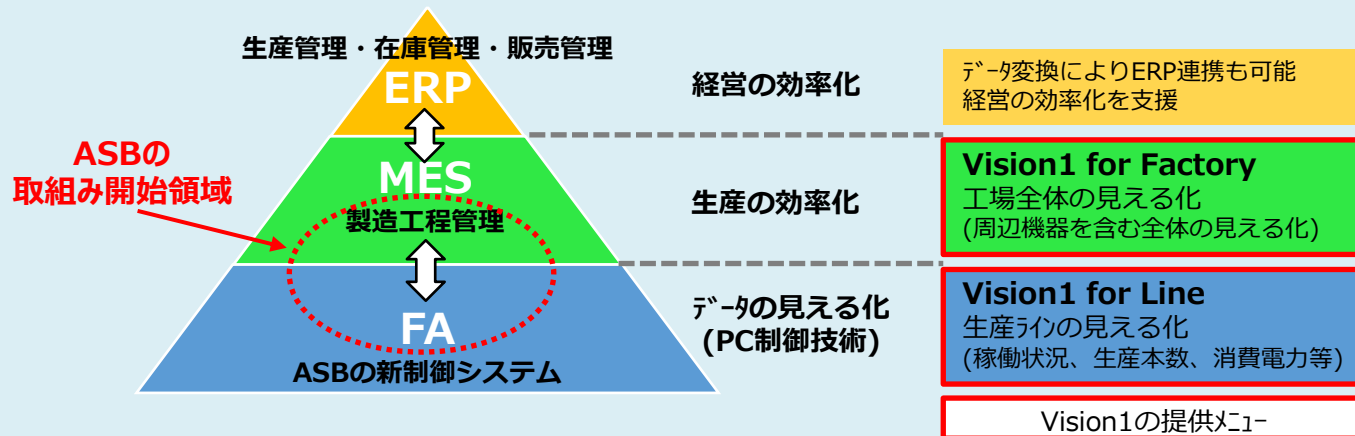
Vision1™



- **Vision1はASBの新制御システム（新型コントローラー）**
- **世界標準の通信プロトコル「OPC UA」に準拠**
- **成形機と周辺機器・生産ライン全体との連携を実現**
- **製造工程全体の情報を見える化・蓄積・分析・活用することで生産性向上を実現**
- **Vision1は主力機種に搭載可能**
ASB-12M, ASB-70DPシリーズ, ASB-150DPシリーズ, PF36シリーズ

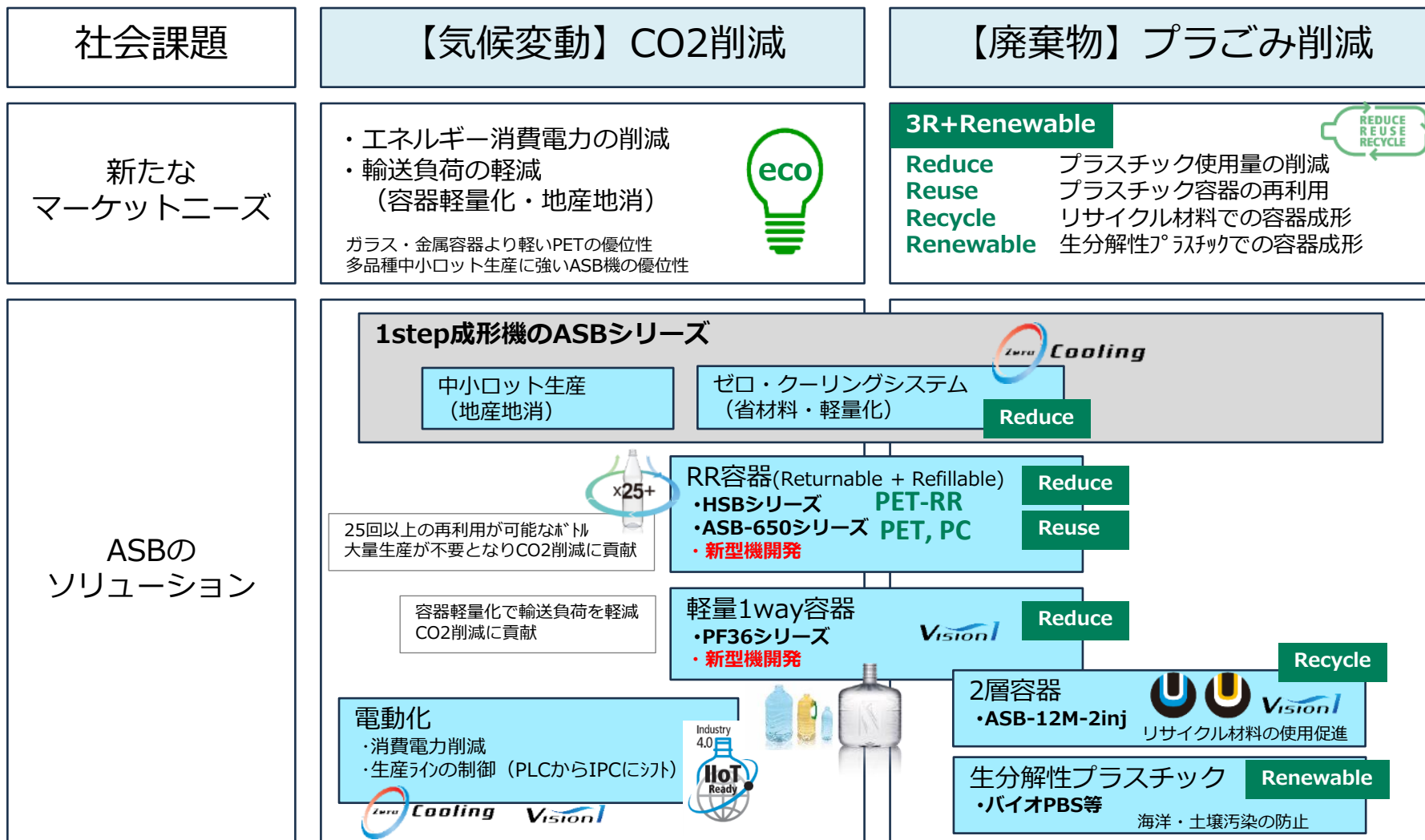
ASBのDX戦略

安価で使いやすいDXサービスを自社で開発・提供することで顧客の生産性を向上
顧客と共に成長することで永続的な関係を構築





CO2削減とプラごみ削減の2軸で環境に配慮





創業当初から環境対応技術に取り組み業界をリード

- **当社成形機はあらゆる素材に対応する成形が可能**
- 『3 R+Renewable』の技術開発を推進し、容器選択の判断材料を幅広く提供
- 業界団体や官公庁のエコ啓発活動にも参加し、環境対応技術を積極的に広報

【取り組み】		【具体例】
Reduce	材料使用量の削減	ゼロ・クーリングシステム により、5%~10%の容器軽量化（材料削減）が可能
Reuse	使い捨てない容器の成形提案	日本初のPETボトルリユース実験に参加 ウォーターサーバーボトル を世界中で展開
Recycle	リサイクルPETをはじめとする、あらゆるリサイクル材料の成形	リサイクルPET対応には30年来の実績あり 二層成形法によりリサイクル容器成形を促進
Renewable	生分解性プラスチックなど新素材への取り組み	樹脂メーカーと共同して新素材対応を推進 バイオPBS で世界初のボトル成形に成功



プラスチックごみ問題に関する各国の動向

日本

プラスチック資源循環戦略（抜粋）

- 2030年までにワンウェイプラスチックを累積**25%**排出抑制
- 2030年までに容器包装の**6割**をリユース・リサイクル
- 2035年までに使用済みプラスチックを**100%**リユース・リサイクル等により有効活用
- 2030年までにバイオマスプラスチックを**約200万トン**導入

EU

使い捨てプラスチック製品禁止法案

- 2021年までに、皿、カトラリー、ストローなどの使用を禁止する（**飲料ボトルは除く**）
- 飲料ボトルを**2029年**までに**90%**回収
- ペットボトルの再生材利用を**2025年**までに**25%**、**2030年**までに**30%**

インド

使い捨てプラスチックに関する規制（抜粋）

- リサイクル不可能、エネルギー回収不可能なプラスチック製品の段階的な廃止
- 生産者へのプラスチック廃棄物の回収・再生・再利用の目標を設定



(Mn JPY)

		FY2015	FY2016	FY2017	FY2018	FY2019	FY2020	FY2021	FY2022	FY2023	FY2024
受注高	Orders received	25,321	23,010	30,694	28,854	26,056	34,248	32,959	33,223	35,181	41,103
受注残高	Order backlog	10,171	7,656	9,060	10,080	9,508	15,471	12,451	15,048	14,716	18,454
売上高	Net sales	25,396	25,526	29,289	27,834	26,129	27,254	35,890	30,277	34,798	36,778
営業利益	Operating profit	3,821	4,525	6,104	5,120	4,304	4,850	8,735	5,556	7,166	7,907
(%)		15.0%	17.7%	20.8%	18.4%	16.5%	17.8%	24.3%	18.4%	20.6%	21.5%
経常利益	Ordinary profit	4,257	4,123	6,954	5,281	4,193	4,669	9,576	8,927	6,953	8,008
(%)		16.8%	16.2%	23.7%	19.0%	16.0%	17.1%	26.7%	29.5%	20.0%	21.8%
純利益 ^(*1)	Net income	2,487	2,532	4,571	4,349	3,154	4,239	6,680	6,130	5,085	5,779
(%)		9.8%	9.9%	15.6%	15.6%	12.1%	15.6%	18.6%	20.2%	14.6%	15.7%
総資産額	Total assets	33,528	32,296	42,066	47,699	45,852	57,899	64,276	68,956	70,195	72,761
純資産額	Net assets	19,449	19,502	25,413	27,237	28,829	31,384	37,901	45,903	50,384	52,848
1株純利益 ^(*2)	EPS	165.63	168.66	304.42	289.61	210.34	282.80	445.60	408.97	339.23	385.52
1株純資産 ^(*2)	BPS	1,295.20	1,298.65	1,692.32	1,813.41	1,922.00	2,092.08	2,526.30	3,059.44	3,358.21	3,522.27
1株配当金 ^(*2)	DPS	40	40	60	60	60	60	100	100	120	150
配当性向	DPR	24.2%	23.7%	19.7%	20.7%	28.5%	21.2%	22.4%	24.5%	35.4%	38.9%
純資産配当率	DOE	3.2%	3.1%	4.0%	3.4%	3.2%	3.0%	4.3%	3.6%	3.7%	4.4%
ROE		13.4%	13.0%	20.4%	16.5%	11.3%	14.1%	19.3%	14.6%	10.6%	11.2%
ROIC		10.3%	12.3%	14.0%	9.7%	7.8%	7.2%	11.9%	6.8%	8.3%	9.1%

(*1: 親会社株主に帰属する当期純利益, Net income : Profit attributable to owners of parent *2: 1株あたり(単位 : 1円, Unit : 1 JPY))

四半期推移 Quarterly		FY2024								FY2025							
		1Q		2Q		3Q		4Q		1Q		2Q		3Q		4Q	
受注高	Orders received	10,913	-	9,679	-	11,331	-	9,179	-	12,475	-	10,430	-	-	-	-	-
受注残高	Order backlog	17,518	-	18,330	-	19,726	-	18,454	-	21,400	-	19,247	-	-	-	-	-
売上高	Net sales	8,043	100.0%	8,605	100.0%	9,810	100.0%	10,319	100.0%	9,440	100.0%	12,462	100.0%	-	-	-	-
売上原価	Cost of sales	4,192	52.1%	4,586	53.3%	5,388	54.9%	5,229	50.7%	5,017	53.2%	6,619	53.1%	-	-	-	-
売上総利益	Gross profit	3,850	47.9%	4,018	46.7%	4,422	45.1%	5,089	49.3%	4,422	46.8%	5,843	46.9%	-	-	-	-
販管費	SG&A	2,219	27.6%	2,217	25.8%	2,672	27.2%	2,364	22.9%	2,364	25.0%	2,423	19.4%	-	-	-	-
営業利益	Operating profit	1,631	20.3%	1,801	20.9%	1,749	17.8%	2,725	26.4%	2,057	21.8%	3,419	27.4%	-	-	-	-
経常利益	Ordinary profit	1,209	15.0%	2,263	26.3%	2,333	23.8%	2,201	21.3%	2,459	26.1%	3,285	26.4%	-	-	-	-
純利益 ^(※1)	Net income	875	10.9%	1,727	20.1%	1,520	15.5%	1,656	16.0%	1,711	18.1%	2,297	18.4%	-	-	-	-

四半期累計 Cumulative		FY2024								FY2025							
		1Q		1Q-2Q		1Q-3Q		1Q-4Q		1Q		1Q-2Q		1Q-3Q		1Q-4Q	
受注高	Orders received	10,913	-	20,592	-	31,924	-	41,103	-	12,475	-	22,906	-	-	-	-	-
受注残高	Order backlog	17,518	-	18,330	-	19,726	-	18,454	-	21,400	-	19,247	-	-	-	-	-
売上高	Net sales	8,043	100.0%	16,648	100.0%	26,459	100.0%	36,778	100.0%	9,440	100.0%	21,902	100.0%	-	-	-	-
売上原価	Cost of sales	4,192	52.1%	8,779	52.7%	14,167	53.5%	19,397	52.7%	5,017	53.2%	11,637	53.1%	-	-	-	-
売上総利益	Gross profit	3,850	47.9%	7,869	47.3%	12,291	46.5%	17,381	47.3%	4,422	46.8%	10,265	46.9%	-	-	-	-
販管費	SG&A	2,219	27.6%	4,436	26.6%	7,109	26.9%	9,473	25.8%	2,364	25.0%	4,788	21.9%	-	-	-	-
営業利益	Operating profit	1,631	20.3%	3,432	20.6%	5,182	19.6%	7,907	21.5%	2,057	21.8%	5,476	25.0%	-	-	-	-
経常利益	Ordinary profit	1,209	15.0%	3,473	20.9%	5,806	21.9%	8,008	21.8%	2,459	26.1%	5,745	26.2%	-	-	-	-
純利益 ^(※1)	Net income	875	10.9%	2,603	15.6%	4,123	15.6%	5,779	15.7%	1,711	18.1%	4,008	18.3%	-	-	-	-

(※1: 親会社株主に帰属する当期純利益 Net income : Profit attributable to owners of parent)



(Mn JPY)

製品別 四半期推移 Quarterly Trends by Product			FY2023				FY2024				FY2025			
			1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q
受注 Order	成形機	Machine	4,571	3,516	3,737	5,222	5,907	5,162	6,208	4,829	6,098	5,169	-	-
	金型	Molds	2,317	3,178	3,095	3,234	2,957	2,677	3,018	2,530	4,202	3,084	-	-
	付属機器	AUX	426	311	491	489	676	498	799	503	693	680	-	-
	部品その他	Parts	1,000	1,118	1,280	1,195	1,372	1,340	1,305	1,315	1,480	1,496	-	-
	合計	Total	8,316	8,123	8,603	10,139	10,913	9,679	11,331	9,179	12,475	10,430	-	-
売上 Sales	成形機	Machine	3,446	4,388	3,979	5,919	3,516	3,815	5,352	5,334	4,570	6,970	-	-
	金型	Molds	2,062	2,448	2,977	3,001	2,947	3,119	2,522	3,128	2,881	3,341	-	-
	付属機器	AUX	449	587	375	575	350	353	652	523	559	728	-	-
	部品その他	Parts	974	1,168	1,267	1,181	1,228	1,316	1,283	1,333	1,429	1,422	-	-
	合計	Total	6,933	8,590	8,598	10,677	8,043	8,605	9,810	10,319	9,440	12,462	-	-
注残 Backlog	成形機	Machine	9,293	8,421	8,086	7,191	9,556	10,680	11,451	10,863	12,349	10,504	-	-
	金型	Molds	5,500	6,195	6,305	6,449	6,432	5,952	6,416	5,771	7,051	6,717	-	-
	付属機器	AUX	1,153	877	992	897	1,209	1,353	1,499	1,477	1,607	1,559	-	-
	部品その他	Parts	221	173	184	177	321	343	359	342	392	465	-	-
	合計	Total	16,168	15,666	15,569	14,716	17,518	18,330	19,726	18,454	21,400	19,247	-	-



(Mn JPY)

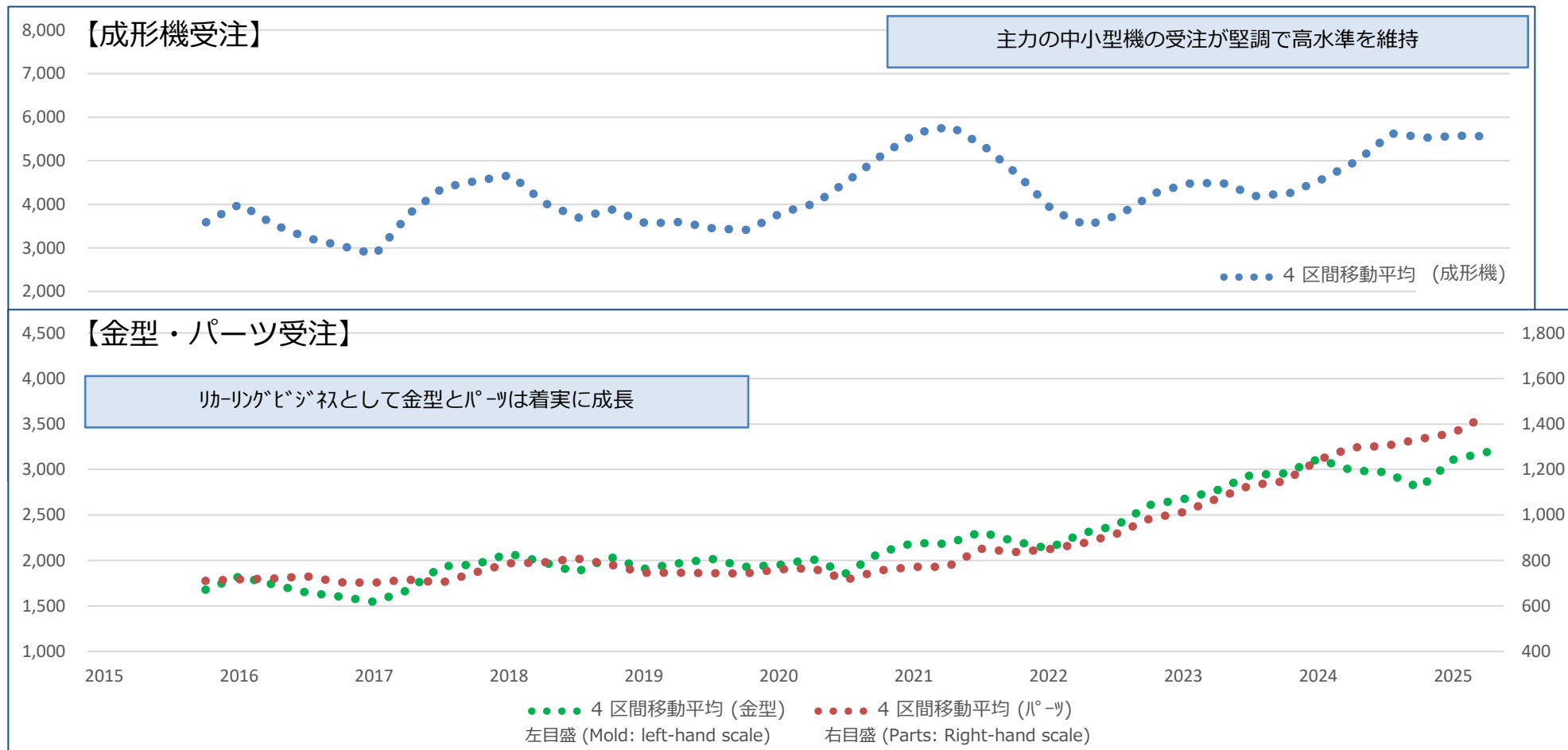
地域別 四半期推移 Quarterly Trends by Region			FY2023				FY2024				FY2025			
			1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q
受注 Order	米州	Americas	2,272	2,348	2,744	3,453	3,516	3,117	3,214	2,987	4,237	2,930	-	-
	欧州	Europe	1,844	1,857	2,098	1,592	1,802	1,922	1,939	1,809	2,401	2,365	-	-
	南・西アジア	South/West Asia	2,955	2,379	3,018	2,729	2,920	2,662	3,064	2,786	3,914	3,182	-	-
	東アジア	East Asia	1,243	1,539	743	2,366	2,674	1,976	3,112	1,595	1,922	1,952	-	-
	合計	Total	8,316	8,123	8,603	10,139	10,913	9,679	11,331	9,179	12,475	10,430	-	-
売上 Sales	米州	Americas	2,907	2,445	2,561	2,730	2,988	3,009	3,365	2,755	2,990	3,966	-	-
	欧州	Europe	787	2,230	1,541	2,292	1,680	1,649	2,055	2,230	1,610	2,206	-	-
	南・西アジア	South/West Asia	2,237	2,546	2,717	2,692	2,484	2,781	2,434	3,073	2,940	3,441	-	-
	東アジア	East Asia	1,002	1,367	1,780	2,962	890	1,164	1,955	2,259	1,898	2,847	-	-
	合計	Total	6,933	8,590	8,598	10,677	8,043	8,605	9,810	10,319	9,440	12,462	-	-
注残 Backlog	米州	Americas	3,975	3,878	4,003	4,726	5,239	5,346	5,195	5,427	6,671	5,574	-	-
	欧州	Europe	3,421	3,043	3,145	2,137	2,258	2,531	2,416	1,995	2,786	2,944	-	-
	南・西アジア	South/West Asia	4,677	4,479	4,752	4,782	5,165	4,785	5,383	4,964	5,903	5,585	-	-
	東アジア	East Asia	4,093	4,265	3,667	3,070	4,854	5,666	6,730	6,067	6,038	5,142	-	-
	合計	Total	16,168	15,666	15,569	14,716	17,518	18,330	19,726	18,454	21,400	19,247	-	-



成形機は高水準で推移、金型とパーツは安定成長

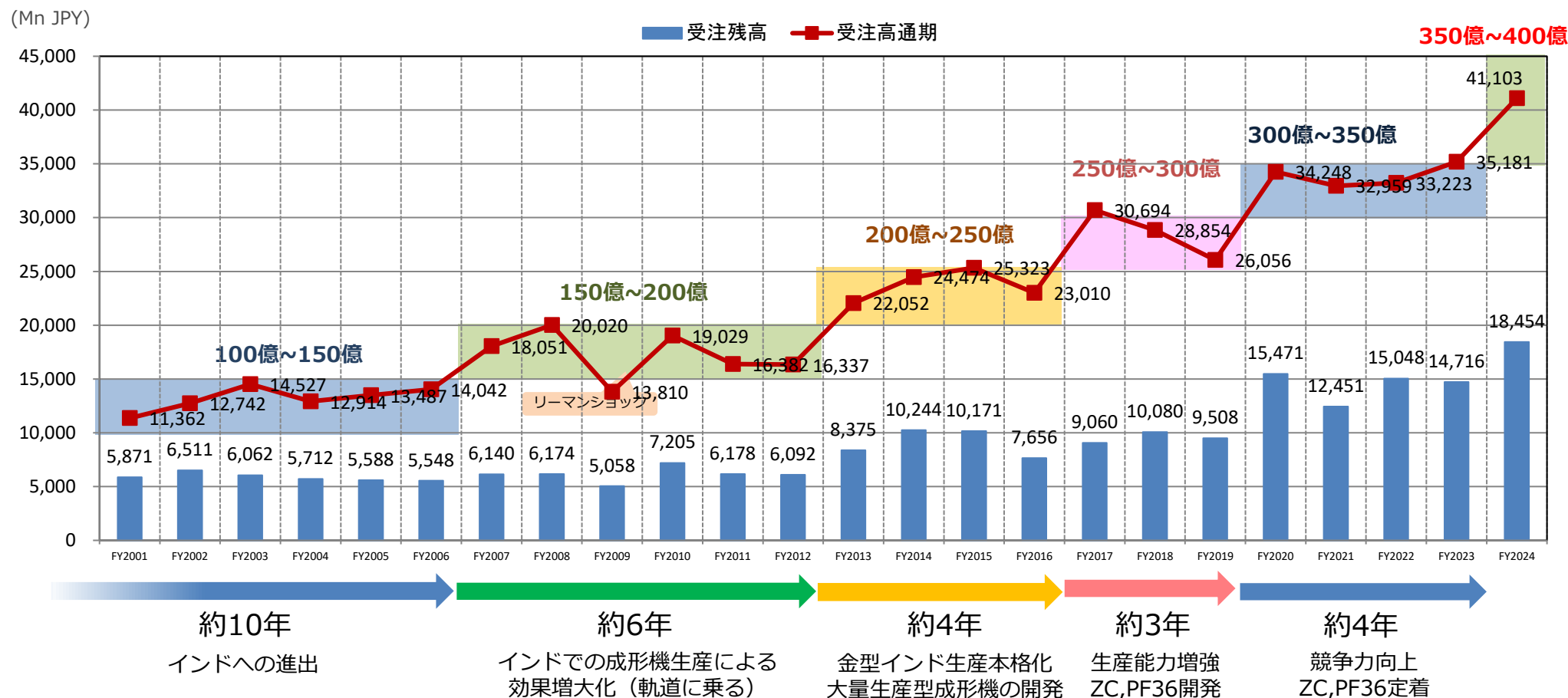
[四半期受注高の4区間移動平均グラフ]

(Mn JPY)





好調な受注で新たなステージへの移行を図る



(*ZC: Zero Cooling system (ASB独自の高品質成形法))



経営理念

人と社会に豊かさを提供する

ASBは、PETボトルを広く世界に、より多くの用途で普及させていく事業を通じ、人々が便利で、より豊かな生活を営むことができるようにします。

高い技術、サービスで恒久的な存続を追求する

ASBは、継続的な技術開発、サービス対応を心がけ、競争力のある高品質、高性能、低価格な商品を提供し、社会から高い信頼を得られるよう尽力します。

行動指針(ASB Values)

顧客満足の追求

継続的改善への試み

規律と活力ある職場



ASB

Form Your Vision

IRに関するお問い合わせ先

日精エー・エス・ビー機械株式会社 経理部

TEL : 0267-23-1560

e-mail : ir-info@nisseiasb.com

website : <https://www.nisseiasb.co.jp/ja/>

将来見通し等に関する注意事項

本資料につきましては投資家の皆様への情報提供のみを目的としたものであり、売買の勧誘を目的としたものではありません。
本資料における、将来予想に関する記述につきましては、目標や予測に基づいており、確約や保証を与えるものではありません。
また、将来における当社の業績が、現在の当社の将来予想と異なる結果になることがある点を認識された上で、ご利用ください。
また、業界等に関する記述につきましても、信頼できると思われる各種データに基づいて作成されていますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではありません。
本資料は、投資家の皆様がいかなる目的にご利用される場合においても、お客様ご自身のご判断と責任においてご利用されることを前提にご提示させていただくものであり、当社はいかなる場合においてもその責任は負いません。